京城新報

寄書　現狀打破すべきか　無名氏

記者足下、韓皇有司百官を率ひて北韓巡行の途に上り、統監老公及大久保將軍も陪從し、漢城の光景頗る寂寞たり、從て政界も亦稍々小康の狀態なり、曾禰副統監居るも更に活動の模樣を見ず、借も此寂寞小康の現景は何時迄持續すべき乎、遷幸の期將さに近し、統監老公を始め有司の簡々歸還せば此寂寞は破らるべきや、是れ即ち問題也

記者足下、統監歸來して現狀を維持すべき乎、將た局面展開せらるべきか、統監は果して現狀打破の意ある歟、[illegible]局面展開の止む可らざるものあらむ、而も其機會は將さに迫りつゝあらむ、今や統監の斷一つにて總て解決せらるべきは事實なるが如し、然れども統監が之を斷するに躊躇するにも深き理由あるが如し、

記者足下、足下は何れを可なりと思ふや、現狀維持を可なりとするか、將た現狀打破を可なりとするか、余は目下韓國全体の趨勢よりして現狀を[illegible]打破するには種々纏綿せる事情もあらん、然れども[illegible]せざる可らざる事也

記者足下、足下は統監老公が韓國に於て[illegible]斷ずべしと思ふか、余は遺憾ながら否と答へざるを得ず、果して然りとせば何時迄現[illegible]へざるを得ず、[illegible]歸朝して印綬を解き後任を寺内子に譲り、[illegible]と、果して讀者の如くならば甚だ以て侍遇[illegible]しと云はざる可らず、併し之れ忍ぶべしとするも其間統監政治の進捗を害するに至るなきかを思ふては忍ぶ可らず、

記者足下、足下は其間に於て統監政治の運敗を憂ひざるか、余は今に於て斷乎たる所置をなし、紀綱を振粛し統監政治をして活きたる効績を擧げしめざる可らずと思ふ、足下は余の言を以て性急なりとするや否や、

◎韓海壺網漁業有望

我邦にて壺網漁業の最も發達せるは岡山縣和氣郡日生村にして、朝鮮海にれいても日生網最も成績よく勢力あり、壺網の初めて朝鮮海に渡來せしは、明治三十五年頃にして、當初は鰆鯿に對してのみ用ひたりしが、三十七年頃より四季共に使用する事となれり、此壺網の長所は資本と勞力とを要する事比較的少くして、其割合に確實なる漁獲を得るにあり、目下岡山縣より韓海に出漁し、同網を使用しつゝある漁夫の根據地は龍塘、盆山鎭、洛東江口、蔚山、迎日灣、左水營、南川、鬱島等にして、岡山縣のみにても現在六十餘統の同網を使用し、各相當の漁獲物を得つゝあり、現に龍塘に根據せる濱野仙次、岡久吉、岡菊松の三兄弟は二名の漁夫を傭入れ、壺網四統漁船一艘（家船）傭船二艘を以て、昨年二月より八月に亘れる期間にれいて約二千百圓を得、壺元久吉なるものは南川近海にて同一の漁業に從事し、一漁期に一千三百圓を得、又橋本松次郎は鬱島近海に從事して約六百圓の水揚を爲し、要するに壺網漁業は傳馬の如き小形の漁船と僅々二三人の小人數にて從事し得るが故に、營業費を要する事比較的尠く、而も漁夫一人の所得は却つて他の大縄網の如きものに優るものありて、將來韓海の漁業中頗る有望なるものなりと云ふ

◎鏡城牛疫の狀況

咸鏡北道鏡城の牛疫に關しては屢々報道し置きしが尚本月十七日の調べを以て其の筋に提出せられたる報告によれば鏡城邑内に於て初發以來の罹斃牛は總計六十八頭にして内斃死せしもの五十二頭快復せしもの六頭尚現在罹病中のもの十頭なり其の他健牛現在二百十三頭にして内血清の豫防注射を施行せしもの三十二頭なりしが之れ施行せし六頭は全部血清の治療注射を施行せしものなり然るに初め治療注射並に豫防注射を施行せんとするに當り部民は其の効力の如何を疑ひ之れが注射を嫌忌せしかども前述の如く其の効力の偉大なるを知り今は爭ふて之れが注射を請求するもの續出するに至り豫防上大に喜ぶべき現象なりと云ふ

文苑

◎◎◎　あかつき

花は紅、柳は緑と極つて居るが何うも社會の事は爾うは行かぬ實際不可解だ否な世間の僕許りではあるまい此の口に出して言へぬ疑問は少くとも社會とゆふものを味つて居るもの〻胸に横はつて居る問題に相違ないさいつて僕は縣村樣の樣に做ふのは厭だ如かす性來多大の趣味を有する浪花節に身を窶し斯道の大家となりて些の煩悶なく生涯を送らんにはと斯う決心して辰丸の門を叩いたのが昨月二十五日師匠よりは前途有望と賞められたが兩親よりは勘當を受けた呼浮華の社會と人生の趣味とは一致しないものだと思はず嘆息したとき耶蘇敎會堂の鐘は此の快き眠りの夢を破つた

◉眼に奇山水　牛刀

眼に天下の奇山水を見胸に萬卷の書を藏するにあらざれば未だ以て學者と稱するに足らずとは古への人の話である、併し今世にあつては學者も分業であるから強ち眼に天下の奇山水を見るの必要がない又萬卷の書も八百屋的では駄目だ而も古人の謂ひ通りの學者は世間今何人あらうか恐らく暁天の星も啻ならずであらう余は斷言す眞の學者といふは一方で專門的で宜いのである

（百十四）　河合柳葉



松右衛門の辭を聞いた小房は、兩親の驚きよりも一層驚いた、なぜかと云へば近頃雅敎に一方ならぬ愛顧は受けて居るもの〻、自分を落籍させうなど〻は、曾て云つた事もない話であるのが、彼女は又听う思ふのであつた、雅敎が松樂の女將を介して頻に意に從へと挑むにも拘はらず、其度毎に[illegible]流して[illegible]ぬを自然だく思ふて、落籍させて自由にせんとするのであらうと、

「そりやァ水で、私でも本當に嬉しいんですが、[illegible]しかしお父さん、[illegible]が私のやうなものでも落籍してやらうと云つて下さるのは、勿體ないは[illegible]有難く思ひますけれど、どうぞ家に障らないやうに斷つて下さいな。」

「お前の氣が進まんものなら斷はる所ぢやない斷つてやるが、しかし外に御家内がれ在りなさるぢやなし若殿樣がお一人で、外は召使ばかりだと仰やるから、お母も私もこれや小房が親孝行を神佛が御覽になつて態歷御身分の高いれ方に取持つて下さるんだらうと、昨日一日喜び通して喜んで、今日も勇み立つて家を出て來たやうな理なんだ、何かれ前の氣に染まん事があるのかも知れないが眞個惜う云ふ結構な話と云ふものは二度と再びあるものぢやない少々不足位は我慢して、身受けを爲て貰ふては奈何だね。」

と、疑念さうに勸める小房は其顔を見て有り申さうよ。



「今少し仔細があつて誰にも話されませんけれど遠方でもなければ話して見るとれ父さんもれ母さんも知つてなさる人なんですわ。」

「ふむ、私等が知つてる方だ。」

と、不審相な顔したが、固より知るべくもないので、

「まあ〳〵、そりや何より結構な話ぢや、それでは若れ母にも話して喜ばせやうよ、それでは若殿樣の方も御立腹なさらないやうにれ斷は[illegible]れ氣に障らんやうに程よくれ斷り申して下さい。」

「御身分が違ふからとか何とか其邊の所を申さうよ。」

「お父さん、私も貴方と同じやうに斯樣結構な事はないと思ひますけれど私はまだれ話は爲ませんけれど、若樣より先に落籍して頂く約束があるんですから、縦へ若殿樣であらうと財産家の若旦那であらうと金子や身分に迷ふて約束を取消したと云はれるも可厭ですし、實際其人の方が親切なんですから、それで若樣の方を斷つて下さいと頼むんですからこの事ばかりは濟まないけれど私の心に任せて下さいな。」

「そんな結構な話がチャンと出來てるなら、そりやお前の云ふ通り、設へ其方より立派な方から落籍して遣らうと仰しやつてもなんで約束が取消されるものか、お前の心が何を云ふものか、心任せにするが宜いが、しかし其の落籍して下さる方は御遠方ちやあるまいね、唯だ一人のお前に遠い遠方に行かれちや私共が心細くて爲やうがないが」

「合點だ、〳〵、其邊は大丈夫だ、それで若松樣さんへ宜しく云つて下れ」

はもうこれで歸ります。

と、松右衛門、小房は連れ立つて戸外に出て右と左に別れた。

[illegible]の新柄ゑり地帶あけ肩掛新調其他種々

京城明治町一丁目 ゑり德商店

京城新報

排日思想と日米關係(一)

此一篇は去る廿九日夜京城教育會に於て本社長峯岸が講演したる大意なり

諸君、日米協約覺書の墨痕未だ乾かず大統領ルーズベルト氏は頻りに日米間の親善を叫破しつゝある矢先に亦もや排日運動は火の手を擧げ來る、此際に於て此問題を研究するは強ち無要の事であるまいと思ふ、乍併教育會の講演としては聊か穏でないと云ふ感じもするが學童問題が其一部に含まれて居ると共に殖民地教育に就て大に學ぶべきことがあるであらうと思ふ、併し之が若しも朝鮮の教育會であるならば斯る題目に就て講演することは或は許されないかも知れぬが統監府は至極寛大である、寛大を利用すると云ふては聊か語弊もあらうが其寛大の恩の下に米國に於ける排日思想の眞相を述べて日米關係の現在及將來を研究することは必要であると思ふ、殊に米國に於ける排日運動は引て日韓の關係にも影響することが少くないと思ふ。

諸君、米國の排日思想は表面より觀察すれば僅に四五年前より現はれたる如く見ゆるも、其實既に遠く其萌芽はあつたのである[illegible]日米兩國人の感情も親善であつた、兩國の新聞紙上にも排米排日等の語は更に現はれなかつたのである、乍併表面親善の中に排日の萌芽は成長しつゝあつたのである、只夫れが日露戰爭後に桑港に於て學童問題を藉りて端を發したのである、卽ち日本の學齡兒童は小學校に入れないと云ふことが口火となつて排日運動が勃發したのである、表面より見れば如何にも之が排日運動の發端であるかのやうに見へるが、其實米國殊にカリフォルニヤ州には夙に排日思想は蔓延して居たのである、今茲に其例を擧げて示すならば、時は溯れ明治廿五年即ち日清戰役の前である、當時日本人某がカリフォルニヤ州立大學の法科へ入學しやうとしたとき同大學は詳議の結果日本人は蒙古人なりとの理由の下に入學を拒絕したことがあつた、然れども某は非常に勇氣に富んだ人で飽迄之に抗議して終に入學することになつたが同校が某を蒙古人扱ひするの傾きある爲に半途にして退校したのである、其後二十七年自分は同大學の政治經濟科へ入つた自分は格別排斥されなかつたが大体に於て米國學生と日本學生との間に常に融和しない樣に思はれた何故に兩者間の融和が出來ないかと云ば要するに日本人が同化しないと云ふことが一の原因である、日本人は何處にあるも大和魂を以て日本の國体を尊重して飽迄も大和民族の特性を發揮して他に同化しないと云ふことが排斥を受ける原因である、是が即ち排日思想を起さしめた原因の一である、當時カリフォルニヤ大學には八百名許りの學生が在つて何れも日本に於ける志願兵の如く大學隊國民軍として正式の軍隊教育を授けられた、之は本大學の學生として身体脆弱若しくは他に特殊なる理由あるに非ざれば大學隊國民軍に屬することを辭することは規則上出來ないことになつて居るのである、而るに當時同大學に在學せし日本學生は七名程あつたが眞に規則を守つて隊に屬した者は僅かに二名のみであつた、其他は皆學規を無視すると云ふ所以ではないが、日本人たる我々は米國の國民軍になるべき理由を認めずとして拒んだのである、自分も亦其一人である、然るに西班牙、獨逸、和蘭、露西亞其他の學生等は皆學規を重じて國民軍となつたのである、此等の事が[illegible]原因で排日思想は之が漸々發達したのである、故に排日思想の原因は詳して來れば日本人は同化し能はざるものであると云ふ事に歸着するのである。(未完)

東京電報

三税廢止困難

戊申派の三税廢止論者は十名餘に過ぎず自由問題を爲すとに決したるを以て議會に於ても通過困難なり

下院請願二件

左の請願下院に提出さる

韓國京元鐵道速成の件 元山商業會議所

日露戰役被害民救濟の件 山口縣民

民長官選問題

今日衆議院委員總會に於て兒玉統監府書記官は居留民團長を官選とせしたるは監督上統監府の權限を當分擴張せんとするものなりと答へ石井外務次官は民團長は長く官選と爲すの意思なしと答へたり(以上廿九日午後發)

西園寺邸密議

桂首相は政友會の形勢非なるより西園寺總裁及び三總務委員の助力を求めたるを以て今朝元田、大岡、鳩山、松田の四名は西園寺邸に集合し密議を凝せり

阿里山問題

政友會多數の意見は假令首相の懇請あるも阿里山官營問題は否決するの意思堅固なり(以上三十日午後着)

政友會と政府

西園寺邸會見の結果政友會の態度は阿里山問題に就ては否決に傾き居り政府も自ら撤回すべく大博延期問題は大浦農相より議場に謝罪して落着に至るべく三税廢止は多分政府の相談を容るゝことゝなるべし(三十一日發)

陪從特電

日章旗の携帶

巡幸の際日章旗を携へしもの稀なりしも還幸の時は沿道の韓民何れも日章旗を携へ居りたり

統監金員寄附

統監は平壤民團へ一千圓安州及び新義州へ百圓外豫定の地へ夫れ〳〵金員を寄附したり(以上一日午前七時發)

勅語と訓告

昨日定州にて勅語を賜はると同時に統監の訓告あり尙本日韓皇には當地官民に謁を賜ひ午後離宮(豐慶宮)に行幸あるべし(一日午前十時二十分發)

皇韓平壤着

今日豫定の通り午前十時新義州を發し定州に一時間停車午後五時沿道の盛大なる奉送を受けつゝ午後五時安着せらる明日箕陽倶樂部に於て日韓人の共同に係る招待會ある筈而して主賓約三百名の豫定なり(三十一日午後六時三十五分平壤發)

雜報

朴泳孝の歸城

一年間濟州島の配所に謫し歲月を送り居たる先の金陵尉朴泳孝は昨秋刑期滿ちたるも尙同島に在りしが愈々陰曆二月初旬を以て歸京する由にて之れが先發として股肱の子分を當臘十二月初旬及び數日前の兩度京城に來らしめ種々歸京に關する準備をなさしめ居れりと尙は朴は今後一切身を政界より絕ち只管子弟教養に竭すの考へなりと語り居れりと

蔘政課の獻上品

度支部蔘政課に於ては韓皇陛下西巡へ御歸還の際蔘及び蔘に關する製造場の寫眞帖に說明書を添へて獻上する筈にて紅蔘、白蔘及蔘栽培用の黃土、藥土、蔘種子、蔘實に根のあるもの等之れを扁額となし寫眞帖は龍紋に蔘の字を置き共に頗る美麗のものなりと云ふ

土地調查局設置說

新借款百八十四萬磅の使途に就ては豫て報ずる處ありしが度支部にては此內凡そ一千萬圓の豫算を以て土地の整理に充つべくこれが爲め土地調查局なるものを設けて四月頃より着手の筈なりと云ふ

私立學校基本財產

私立學校令頒布以來同令に關し種々の誤解をなすものあり當局者は此れに對し屢々辨明をなせるも尙私立學校に一定の基本財產を有せざれは學部は認可せざる如き風說をなせるありて學部に問合せ來りしものあり學部は其然らざるを辨明し其の學校が兎に角現狀を維持するに足る財源を必要とする程度の條件を以て認可しつゝあり然るに殊更に基本財產の必要を說き廻るは教育有志者中此の機會を利用して基本財產として寄附金を蒐集し以て私利を圖らんとするものある如し此等は深く世人の注意を要す(當局者談に依る)

漢湖農工株主總會

漢湖農工銀行にては一昨卅一日京城ホテルに於て第四回定時株主總會を開き昨年下半期の利益分配案を可決したり當日は出席株主百九十三名(委任者共此株數一三三五八株)にして小林監督局長及藤原監督官等の臨席あり白銀行長開會の挨拶に次いで久能支配人は營業成績を逐一說明報告したる後該利益分配案を提出したるに滿場一致を以て之を可決したり終りに小林監督局長及藤原監督官の訓示演述ありて散會を告げたり

北韓地方牛疫

咸鏡北道の牛疫は益々猖獗の狀況あり羅南に於ても十五頭の病牛を發生したる報告あり農商工部は既報三人の外臨時囑託川崎獸醫の防疫のため明日派遣することゝせり因みに既報雲山地方の豚疫は一先ず屛息して新患牛なく目下發生地に於て消毒方法及び健康診斷を勵行しつゝありと

關釜連絡船の日割

二月一日より左の如し

一日 薩摩出港 薩摩午前入港、午後會下山入港、午後
二日 壹岐出港 壹岐午前入港、午前會下山出港、午後
三日 薩摩出港 午前薩摩入港、午後會下山入港、午後
四日 壹岐出港 午前壹岐入港、午前會下山出港、午後
五日 薩摩出港 午前薩摩入港、午後會下山入港、午後
六日 壹岐出港 午前壹岐入港、午前出港會下山、午後
七日 薩摩出港 午前薩摩入港、午後會下山入港、午后
八日 壹岐出港 午前壹岐入港、午前會下山出港、午後
九日 薩摩出港 薩摩午前入港、午後會下山入港、午後
十日 壹岐出港 午前壹岐入港、午前會下山出港、午後

京城教育會の講演

廿九日午後七時より京城教育會の教育倶樂部を日本人商業會議所に開催せるが會衆七十四名にして隈本副會長の開會の辭あり次いで峯岸繁太郞氏の「排日思想と對米問題」小田文學士の「教科書と教育」等の講演ありたるが峯岸氏は非常の喝采を博したり終て茶菓饗應の後千朝の講談及落語ありて盛況十時過散會したり

排日新聞の押收

近着布哇にて發行せる同誠新聞第三十六號は日本人の對韓野心と題し治安を妨害する記事を揭載しあるを以て內部大臣は其の發賣頒布を禁止し此れを押收せり

十二旅團勳績調查

軍司令部に於ては二日より第十二旅團の勳績調查中なるが第十三師團の勳績書類も兩三日中には到着すべきに付逐次調查を遂げ今月中に完了して陸軍大臣に提出すべしと

大邱の拓殖出張所

大邱よりは兼て東洋拓殖會社出張所設置に付其筋へ出願せしが同地附近は驛屯の土地多きと移住者には適當なるべきを以て同社出張所は設置せらるべく略ぼ決定せりといふ

日高內大臣秘書官

內大臣秘書官日高秩父氏は二日夜來京巴城館に投宿せらると

八重山艦の遊弋

軍艦八重山號は三十日木浦に入港し爾後沿岸を遊弋し鎭海灣に至る由

土地無料貸下許可

仁川本派本願寺より學校下土地無料貸下げの議を出願したる件は過日開會の第四民會に協議の結果無料にて貸し下ぐることに決定したるを以て民團よりは近々右通知をなすべしと

小學校寄附金

京城永樂町三丁目山本喜三郞氏令閨死亡せし葬儀費用を省き學校に金五十圓を寄附せり

民長の奉迎出張

熊谷民長は韓皇の御歸京を奉迎せん爲め本日開城へ向け出發の筈なり

元山在留邦人戶數

元山理事廳管內在留日本人十二月末の戶口數は東萊、金海、梁山[illegible]各郡に於て[illegible]二千三百[illegible]方〇九百六十二人尙蔚山、彥陽、機張、靈山、興海、延日、長鬐、[illegible]、盈德、淸津、英陽、[illegible]珍の各郡にて三百五十一戶男七百二十三人女四百四十四人なりと

藥師川憲兵少佐

憲兵京城分隊長藥師川少佐は一日夜開城に出張せり

庵原技師東上

山口縣佐賀縣に於ける韓國漁業法研究會に列席のため出張中の庵原農商工部技師は二月五日より三日間東京に於て開催さるゝ大日本水產大會に列席のため東上する由歸任は十日頃なりと云ふ

陪從通信(第二信)

獻品と贈呈品

韓皇には豫定の如く二十八日午前八時二十分平壤行在所御發輦九時平壤驛御發車新義州へ向け行幸あらせられ午後三時四十五分着車相成りしことは既電の如くなるが同地の奉迎は非常のものにて觀衆漸くが如く幾萬の韓民吾れも〳〵と許りに同驛の附近に蝟集し未曾有の盛觀を極めたり斯くて鳳輦は既定の行幸所に着するや深川副理事官及び岩永民團長其の他官民の有志者は何れも謁見の榮を賜はり市民は業を休みて奉迎の意を表したり而して其の際深川副理事官及民團役所其の他團体並に個人より韓皇及び統監へ左の如き獻品及び贈呈品をなしたり

一、羽二重一疋(深川理事官)一、綿紬三疋「紅桃色淺黃」(新義州民團)柞蠶繭(同民團)鴨綠江產の鱸(同民團)鴨綠江材の木具及鴨綠江寫眞(營林廠)九谷燒茶器一組錦繪「花鳥」一卷(大久保子之吉)稗、籾、大豆三種と成績表(興農會)

以上韓皇へ獻上

紋縮緬「紅白」一疋(新義州民團)鴨綠江材の木具及鴨綠江寫眞(營林廠)彥四郞貞宗作白鞘九寸五分一振(後藤倉太)稗、大豆、籾三種と成績表(興農會)

以上統監へ贈呈

舊義州へ行幸

韓皇新義州御着の際は朔風肌を劈き寒氣酷烈寒暖計は〇度以下十度に下り今年に入りて初めの嚴寒なりしかば三十日の舊義州行幸は如何あらんと氣遣はれ見合せと相成るべしとの噂さへ傳はりしが韓皇には至つて健全にて豫定の如く同地に臨幸あらせらるべしとの旨仰せ出されしかば二十九日午前十時統監以下供奉員は何れも馬車に乘し道程約五里の間民觀迎の裡に午後〇時舊義州へ着車あらせられたり此の日朝來風強く黃塵高く上り且つ加ふるに寒氣凛烈指をも落さん許りなりき

市中の模樣

在舊義州日韓人は此の空前の盛儀を奉祝せんものをと二十三日より毎日人夫三千餘名を出し新義州より同地に至る郵便里程四里三十丁の道筋を改修し且つ城內及び城外に四十餘個所の大アーチを設け城內の各戶に國旗綠燈を揭揚し中には造花を以て軒頭を粧飾し頗る美觀を呈したり而して此の日遠近より鹵簿を拜觀せんとて蝟集雲合せし韓民實に幾萬人沿道垣をなし勇牛絡繹非常の雜踏を極めたり

統軍亭臨幸

統軍亭は城內西北の郊上にあり面は鴨綠江を隔てゝ遙かに九連城と相對し眺望佳絕滿韓の野を一眸の下に收むべく蓋し平安北道に於ける唯一の名勝と謂ふべし斯くて韓皇には二十九日午後三時行在所御出門無蓋の轎輿にて完顯君及び各大臣以下供奉員を從へさせられ統軍亭に臨幸あらせられたるが途中極めて御興悅に渡らせられ何等の防寒具をさへ召されず愉快氣に近侍のものと御談笑あらせられ尙は統軍亭へ着後も種々御下問あり至つて御滿足の態に見受けられたり

統監歡迎會

義州日韓官民の發起にて統監以下の歡迎會を同地百一院に開きたるが最初李觀察使の挨拶あり次で[illegible]にして統監は長時間に亘る一場の演說を試みられたり

行在所參內

夜に入り重なる韓民行在所に伺候し拜謁したるが韓皇には其の際拜謁者に向ひ「各々自己の業に勵み殊に風教の矯正を圖む」との御諚あり更に別室にて趙農相李學相の行幸に關する詳密なる演說ありたり

日章旗携帶

最初舊義州へ行幸の際沿道奉迎の各學校生徒は韓國々旗のみを携へ日本國旗を携ふるもの至つて僅少なりしが三十日還幸の際には何れも日章旗を携へ居たり思ふに是れ前夜の御諚及び訓諭が與つて力ありしものなるべし

獻品と贈呈品

舊義州日本人會及び團体個人より韓皇及統監に對し左の如き獻品と贈呈品をなしたり

一、山人蔘七原(平安北道觀察使柳赫魯)一、寫眞挿、繪葉書百枚(赤十字社新義州支部)一、紬一疋(義州府尹徐相勉)一、生豬一頭(同人)一、蜂蜜一瓶(中央農會支部)一、義州風景寫眞(義州奉迎會)一、銀製茶器(義州日本人會)一、燒酎二甕(秋山康藏)

以上韓皇獻上

一、酒一瓶(秋山康藏)一、紬二疋(義州日本人會)一、狐皮一枚(平北觀察使柳赫魯)一、藥蓉實一箱繪葉書(義州赤十字社支部)一、紬一疋(徐府尹)一、蜂蜜一瓶(中央農會支部)一、義州風景寫眞(義州奉迎會)

以上統監へ贈呈

一狐皮一枚(平北觀察使柳赫魯)一紬二疋(義州日本人會)一、風景寫眞(義州奉迎會)一、紬二疋(義州郡十八面長)

下賜金と寄附金

韓皇より舊義州韓民に三千八百圓日本人側に一千圓次に新義州韓民に五百圓日本人側に三千二百五十六圓を下賜せられ統監よりは舊義州民團へ五百圓龍岩浦日本人會へ百圓寄附されたり

統監歡迎會

新義州にては三十日午後四時半より統監歡迎會を開きたりしが來會者百五十名岩永民長の挨拶ありたり

道臺候補謁見

徐總督の命に依り東邊道臺沈桐謁見の爲め新義州に來る筈なりしも沈道台病氣の爲め道台候補李豐年一行三十日午前十一時三十分新義州に着韓皇に謁見し后統監軍司令官を訪問し敬意を表せしが其の際氏は韓皇に獻品を爲し統監に寄贈品をなしたり

公人私人

▲松井[illegible](辯護士)廿九日入京不知火旅館

▲牛澤篤五郞(通信事務官補)卅一日入京巴城館

▲金本康久(步兵中尉)卅一日太田へ歸任

近事片々

▲伊公の義州に於ける演說は南韓巡行に於ける演說とは餘程の見劣りせらる感あり

▲併し伊公の演說によりて伊公の政策は能く韓國民に諒解せられて猜疑心氷解せん

▲余りに韓國扶植と云ふ事に重きを置くが極東の大勢上保護する必要を說くが肝要

▲新義州停車場にて教師が學生に日本國旗を破毀すべしと云ふが事實ならば不屆也

▲生徒等一同命に服して日章旗を破毀したりと云ふ事實ならば怪しからぬ話ぞかし

▲教育の任に當る教師等にして暴徒に等しき思想を有せば前途[illegible]べき也

▲斯る失体をして生徒になさしめたる責任は誰に歸すべきか內相か學相か懲すべし

▲義州邊今尙は危險の恐れありとの報を事實とすれば北韓の德化は夫何れの日にや

▲伊公は日韓民を一括して兄弟の如く親しめよと云ふ是は些と無理なる事に考へる

▲日韓人は文明に於て其程度異る師として導くはよし兄弟の如く親しむ迄に達せず

▲斯く同等に扱はんとするより却て反目の原因となる絕体に師として從はしむべし

▲渠等にして多少敬意を拂ふ觀念生せば茲に於て融和は生ず然らざれば輕蔑せん乎

▲渠等に輕侮の意あるに於ては到底今後の融和は難し先づ渠等に敬意を表さしめよ

▲威嚴は常に必要なり未開人に接して之を欠けば統治上に於て多くの至難あるべし

▲帝國議會豫算委員會は思の外は波亂ありて多少新顏議員連の活氣を示す者如し

▲阿里山問題にて後藤遞相政友會派の議員にイヂメられ足下シドロモドロの体なり

▲豫算は政友會派の矢面に立ちたる觀あり惟ふに是れ過半數黨が部分的の攻擊にや

▲豫算委員會狀況兎角面白からざるを見るや巧妙ある桂首相は直に政友會に妥協す

▲[illegible]により不[illegible]なるより直に西園寺侯に直談判を開く政友會は亦盲從乎

群山の叺輸入狀況

昨年中群山に輸入されたる叺の數量は四十[illegible]なる仕入地は大阪のみなり又荷造費三十枚括りを以て一個とせり目下販賣店にて買入れども概ね荷爲替付にて着後三十日拂依託金取引法は信用の厚薄に因り多少の相違あり去る三十日[illegible]て登記濟なる南[illegible]の事務所に於て[illegible]事務の開始を爲すべく[illegible]

[illegible]

…群山に輸入されたる叺の數量は四十五萬枚なり而して…十一、十二、一、二の五ヶ月間が出盛期なり…叺の需額は五万余枚にして目下重に…揺りを以て一個とせり目下販賣店にて買入れども概ね荷爲替付にて着後三十日拂依托の事務所に於て…出務の…近く荷爲替付群山渡)なりといふ尚ほ韓國の輸入税率…無税にして從來の慣習による代…し百圓に付五圓の手數料を受くるものとす

●拓殖事務開始 東洋拓殖會社に於ては…



●京城三美人の一人(三)
▲翡翠樓 靜子君

花ならば散らむ葉末の露本の雫にくらぶれば何れ/\も身輕なき人の世に古來阿呆の絶ねた例なく何時ら/\も女の噂さうるさく耳朶の間にはさまなこを是非なけれど異に悟り澄した心で數寄する似非君子よ暫くは俗塵の種にまぎれ込んで生如來生菩薩の御前に隣塔の禮を通れ玉へよかし殊に京城美人…理に…のくれなき翡翠樓の靜子君何せ金さへ見すれば松浦佐用姫ならなくに忽然變じて金剛石よりもまだ/\硬い石にでもなる近頃の習慣ゆゑ口の先き丈けの愛嬌位はホンに粋狂い御用とは云ふもの〃靜子計りは人一倍至極念入りの愛嬌者却々朋輩連の及びも附かぬされば如何な浮世嫁太君も…に…れねばなる可し

▲元は大阪花柳界で名乗りを上げて开が以來折花攀柳の粋士間に彼の花手折つて手活にして眺めたいよと囃されつゝ天晴れ全盛を歌はれし丈けありて實にや丸顔の美人と云ふより美女なら〃美女と云ふより麗女(へへチト變な數學なれど此妓に限つて差支なしさは……)…し美人も人に依つて時には向不向のある事なれど此妓計りは十人向き…論毎朝毎夕の手入化粧に色白く二重目元の…しさに口元可愛い…彼何役今日迄京城の粋士社界の呼物と噂されぬが實に奇折らんタット手折らし粋士は數あれど名に…も靜子なればヤッパリ靜かに…世渡りするを床かしけれ

▲扨ても温和な靜子の話が渡るや京城は昔に名高き南山の松の翠りを居ながらに揃ぶと云ふ今の翡翠樓に抱へられしは三との昔丁度明治も四十年心氣も浮かれ出す春の頃ほいとか

▲聞けば开所等の粋士の話に近來流行の當世藝妓團子はづれの安つぽい俗謠彈くや彈がすや三絃枕早速轉ぶか眞言秘密の奥の手と極め込む連中の姐はんや一ツ夕亂暴妓や無作法妓にも少しなりとも靜子の腕を細分けしてでもやりたいものだとの御賞賛果して开様な靜子なら一時上りの俄紳士なざは羽ながらも少々氣恥しふ感ずる處もあるならむ

▲確か生國は大坂とのみで姓は稲井名はすへ子無論れ父様やれ母様が御無事か否か开所迄は擾らぬ記者の知る由もなけれど年は當年二十と二つ花の盛りは咲きも残らず咲きも了はらず天晴れ將來望みある开所が見込んで粋人が山程わるとは少々掛價もあらしい夫れは兎もあれ角もあれ靜子の昭の靜ちやんは何の記者が惡かれと思ふものかへ必ず夜更けて深酒を飲んで身体を惡くすなどはチョット記者がすべッか迄稲井のすゑさん左様なら(社外かせん坊)

●龍山歌留多會

鐵道管理局有志の主催にかゝる同會は豫定の通り再昨三十日午後一時より同所局員集會所に於て開かれたるが會員四十有餘名觀覽人又少なからず仲々の盛會なりしが當日の最優者たる可と豫想せられたる**稲葉氏**は通信管理局派の勇士**末永君**の爲めに**擊破**する所となりたるは稲葉氏の爲め…に…以て…名譽とすべきなり…而して**第一等の月桂冠**は又々鐵道派の**山根氏**の頭上を飾りぬ當日大に振ふべかりし**通信管理局派大**に振はず**松岡君**の漸く**十等**に**踏止まり**たるのみなりしは君れ入北に遺憾とする所なり受賞者は一等山根(龍山)二等稲葉(同)三等佐々木(西大門)四等姫野(永登浦)五等伊藤(同)六等大森(龍山)七等梅宮(西大門)八等鈴江(龍山)九等村山(南大門)十等松岡(通信)の十氏なり尚ほ當日際立ちて人の目を惹きたるは龍山局給仕**池田茂**(十四)が怯めず臆せず堂々戰陣を張り徐々として有髪男子を後に瞠若たらしめたるの一事なりとす詳細は會員細井生の投稿あれば明日の紙上に俟たるべし終りに當日最も遺憾なりしは前回の一等山根氏と二等松岡氏との**決戰半**にして**讀札混雜**し**行直**しの大失態を演出し多大の**興趣を削殺**されたる事なりき

●時事俳評
ちはる

○米、顔の格闘
猿まわしこなし過して咬まれけり

○米内相の決死
出多羅目の偽り可笑し厄拂

○東拓を空樓屈
荒蕪地の利用法説く燒野かな

○芳村伊三郎の成効談
鍛山の一ど繁商うそぶへけり

○長唄會の盛況
長唄の合ひの手に髪拾りけり

●元民團吏員の詐欺
▲宿屋荒しに巧みな男

仁川民團元吏員たりし田中音吉(三八)と云ふは一昨日仁川京町二丁目鈴川下宿屋に宿泊中仁川警察に逮捕せられたるが同人の罪状を聞くに昨年中仁川民團を解雇せられたる以來何等一定の職業なく無錢にて常に旅館に投宿しては最後に一文も支拂はず何れにか逃走し又次の旅館を荒すてう惡漢なるが又近來は同地開花洞の某後家を取込み其の財産を蕩盡したる後は仁川公園地通り土居某方に食客をなし居たるが尚彼れは惡心を改めず諸所にて無錢飲食をなし居る爲め土居某も其の所爲を惡みて食客を斷りたるが音吉は尚も懲りず宮町竹原旅館に投宿して大盡を氣取り敷島深川樓に繰り込み四日間流連をなし勘定五十三圓は竹原旅館にて支拂ふべしと仲居を騙して同旅館に至りたる所同旅館…三十余圓の…其筋の…なければ…て請求し居たるに何時の間にやら音吉は姿を晦まし當地に來り明治館に例の手段にて宿泊し一昨日又々仁川に舞ひ込み鈴川に下宿したる所を刑事に發見せられたるなりとされば同人は詐僞取財犯として昨日檢事局に送られたり

●今様御所櫻

武藏坊辨慶が鬼若丸時代に里の女に手を掛けて一女を設け十六年振りに廻り合ひし話は御所櫻三段目でたわさの物語りなるが其れにも似たる面白き話は當地本町筋に小宮とか云ふ大きな豆腐屋の主人は佐賀縣生れにして今より十九年前商用にて熊本に旅行し某旅館に一宿したる際旅の氣散じと給仕の女中に手を附けしが元よりホンの一夜妻にて翌朝旅宿に暇を告げて立去りし此方の女中は其時より懐妊したれば大に驚き男の跡を訪ね行きしも元より旅の人とて住所さへ知れず止むなく髪結を稽古し生み落したる女の兒を養育なり相不變髪結を稼しゝして既に十八年の昨年母子二人で京城に來り居りしが此方の小宮は斯かる事とは露知らず當地に來りて相當の財産を作り昨年南山樓の某妓を落籍して妻となし居りしに昨冬の事壽町に於て突然件の女と出合ひ互に見覺へのある顔付きと暫し呆然として見てありしが女は言葉を掛けて其名を訪ねしに紛れもなく十八年此方訪ね廻はりし戀男…ツと泣き伏したり二人は女の宅に同行し其夜は永の物語りに夜を明かしさて翌朝小宮は自宅に歸り右の次第を妻女に語りしに此女も中々判かつた人物とて自ら進んで離縁を申出で若干の旅費を貰つて郷里に歸りたれば茲に彼の髪結母子を改めて自宅に引取り親子睦まじく暮し居れるが此娘と云ふは中々の美人にして心根も又優しき女なりとは極めて結構/\

●松子の落籍

つい此間三美人の一人として本紙に紹介せし元仁川淺岡樓桝子事目下當地清華亭の松子拍子は此程より仁川に落ち延び延に姿を見せざりしが同人は仁川時代より町邊の小間物商某を手球に取り…血を吸ひ居りしが京城へ來てまだ一ヶ月にも足らざるに愈々落籍の相談纏まり去る廿八日某と二人連れにて仁川に趣き同地旭屋に宿り込み同夜は元朋輩への披露にとて淺間樓の藝妓全部を招き某と二人が主人公で歌舞伎座見物と洒落込みたるが朋輩達はホンに桝子さんは仕合せな人だと口を揃へて羨やみ居れりとか此事平壤なる例の金物屋さんに聞へなば定めて薄情女と恨むならん

●頭から冷水

當地太平町一丁目尾張屋止宿相撲取中原藤四郎(五五)同宿無職工藤達(六十)の兩人が一昨夜十二時頃太平町支那料理店孫盛和方前を通行中二階より工藤の頭に冷水を浴せ掛けたるにぞ大に激昂し家内に立入り言語の行違より茲に大立廻りを演じたるも折柄巡廻中の山田巡査が立入り双方説諭で事濟みとなる

▲講談掲載豫告▼

今般掲載の「…」は…正に大團圓を告げんとすれば引續きて我邦講談界の泰斗**眞龍齋貞水**子の口述に係かる**義民佐倉宗吾の傳**を連載することゝなりたり佐倉宗吾が義民として後世に名を遺したる憐れなる物語りは精巧なる插繪と相俟つて貞水子の巧妙なる演述に因つて遺憾なく其眞想を發揮し盡さる可く蓋し絶妙の讀物たるは疑ひを容れず讀者請ふ數日以後の紙上に俟て

●通信員の只飲

熊本縣上益城郡甲佐町當時明治町三丁目十九番地矢津田六介(三十)は釜山新聞通信員と自稱し去る廿九日午後十一時頃當地本町一丁目藤隈旅館にて一圓三十錢の無錢飲食を爲したる爲め南部署へ引致されしが説諭の上示談せしめ放還

●酒の祟り

南大門鐵道運輸部第六號宿舎職工西野虎十(三十)は去る廿九日午後五時半頃大に酩酊して南大門通二丁目の路傍に酔臥し懐中所持の金四十一圓を紛失したりとて其旨警察署へ屆出しも今に金の在家は知れず

●天然痘患者の死亡

仁川にて過日天然痘に罹りたる同地仲町戸田ハルエ(三十)は一昨日死亡したり

●天然痘新患者

當地若草町一丁目四十八番戸杉山トク(二十)は天然痘に罹り昨日青坡病院に送らる

●公判だより

來る三日法務院に於ける公判は秋山喜之助傷害致死事件(午前十時)なり

●長唄大會の盛況
▲聽衆者場外に溢る

當地の長唄嗜好會は其第三回大會を去る廿九日巴城館に於て開催したるが聽者は紳士淑女無慮三百余名にして中には室内に這入れずして場外に立聞せし人もありし位なり斯くて豫定の番組を演じ午後十一時閉會したるが今各員の路評を試むれば、村瀬、矢野兩氏の「望月」は何んと言つても當日の隨一である、殊に村瀬氏の唄振りは眞に老熟の域にて一糸亂れず、加ふるに伊三郎師の三味線なりしかば一層聞答へありき、其他林氏と鬼千代子の「浙石橋」ゑん子の「梅の榮」…子の「淺妻」何れも進歩の跡…として現はれ大喝采を博したり、此外當日の番組中で特筆すべきはます子、とく子、きく子の「筑摩川」なり、三人共十五六歳の少女にして玲瓏玉の如き美音に殊にきく子の三味線は到底十五や六の少女の業とは受取れず何れも感嘆して止まざりき、師匠伊三郎は此三人唄ひ終るや嬉しさの餘り落涙したる位なりき、尚ほ三味線としては師匠伊三郎は申迄もなく斯界の名人とて興に入神の技と云ふ可く評する丈けが野暮なり其外松子の三味線は頗る達者なれども日比充分稽古し居らざるにや稍々りすると立三味線より乖違を脱するの感ありしは遺憾なりし此外喜美勝子の三味線も相不變巧者にして撥さばきは…に石井氏の餘興…太夫は大に掌摺運を唸らしめし腕前甘いものなり(一記者)

△壽座 (演)…(藝)…(だ)…(よ)…(り)
本日の替りは一番目「軍人會我」二番目「神靈矢口渡」にして配役左の如し 中井少佐、變々た雛、頓兵衛(原)馬島判三(西)新園八ワラオン(入谷)…義峯公(大咲)娘れ花(田川)…秀夫、六道(福本)松本憲兵曹長(小泉)松平行雄(後藤)曹長種田照夫、らてな(秋月)父孝の進、玉川軍人(荒川)大山五郎、あふき(三宅)楠本大尉(清水)賀秀夫の妻れその(すみれ)藝妓妻吉、娘れ舟(今紫)

●七代目 芳村伊三郎

右は筆者病氣に付き本日休載す

●天氣豫報 (自一日午後六時至二日午後六時)

西の風晴

卅一日 最高温度 (華氏) 四〇、五
最低温度 一六、三

一日午前六時各地氣象概況
今朝高氣壓は蒙古北部を占有し陸地は疾風吹けども其他は一般に靜穏に天氣晴朗一點の雲を止めず

負債之部

科目	金額
政府貸下金	[illegible]
貨幣整理貸下金	[illegible]
農工債券發行高	[illegible]
資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
配當積立金	[illegible]
支拂未完配當金	[illegible]
定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
小額預金	[illegible]
預金手形	[illegible]
別段預金	[illegible]
支拂送金爲替手形	[illegible]
他店より借	[illegible]
中央金庫	[illegible]
貨幣整理資金	[illegible]
前期推移金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資產之部

科目	金額
拂納未完資本金	[illegible]
年賦償還貸付金	[illegible]
定期償還貸付金	[illegible]
貸付金	[illegible]
割引手形	[illegible]
執物爲替手形	[illegible]
當座預ケ金	[illegible]
公債	[illegible]
株券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
地所	[illegible]
建物	[illegible]
什器	[illegible]
收入印紙	[illegible]
手形印紙	[illegible]
典執物流込物件(地所建物)	[illegible]
保管貨幣	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]

損益

一金七万五千六百三十二圓… 益金
一金二千一百二十三圓九…
合計七萬七千七百五十…
内
一金六万五千二百五十八圓…
差引
一金一万二千四百九十七圓… 當期純益金

一此の配當計算左の如し
一金四千圓(利益金三割…)
一金一千圓(利益金八分…)
一金四千七百十三圓(…)
一金二千七百十圓
一金一千七百十四圓(…)

右之如
隆熙三年二月
株式會社漢湖農工銀行
銀行長 白完爀
理事 洪肯燮
同 李鴻謨
同 李健鎬
同 孫海…
同 陰在周
同 李顯文
同 朴基煥
同 徐東重
同 尹敬…
支配人 久能省二
監事 尹晶錫
同 白寅基
同 金時鉉

前記之各項調査ヲ了シ其正確ナル事ヲ保證ス

用燃料　新發明　無煙煉炭
●特色　火持ち良く火力對久價格低廉
●用途　瓦斯、暖爐、竈用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣　谷口無煙煉炭工場
京城特約店　電話六〇三　吉商會

▲無料紹介欄▼

人事部

被履歷老年教育に經驗あり且韓語に通ず韓國學校か家庭教師を望む　姓名在社（一五二）

玉突場ボーイ（ゲーム取り）男女各一名至急入用相當月給支給仕候　龍山大島町　新玉軒（一五四）

中學卒業後一ヶ年半餘英語研究普通會話に苦しからず職を探ばす至急紹介たし　姓名在社（一五三）

求事業家　確實なる事業にて年十百圓以上出資し得る人を求む　樹以上の純益あり金五　旭町一の六十　京仁商會（一六三）

求妻　知人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む　旭町一の六十　川村（一六四）

物件部

貸間　二階八疊及び十疊何れも床付き紳士向き食事付き又はなし　龍山停車場前　電話四九島田（一四六）

貸家　若草町一にて温突三間疊敷一間建具疊押込炊事場附家賃一三、五〇　若草町一の一二九　矢島（一四八）

貸家　若草町一温突五間板間一間炊事場押込附空地極めて廣し家賃十七圓　若草町一の一二九　矢島（一七九）

貸家　京城明治町一丁目　名々穗（一五〇）

齒科醫學講義錄第八卷迄分四部格安御讓り申したし　姓名在社（一五二）

商店　二三向貸家相平家造作付間口三間店士二十三圓　永樂町二丁目　岡（一五六）

土地　百坪南山町二丁目南山麓眺望絕佳約三百坪御賣又は貸御申候何れ共御相談に應ず　永樂町二丁目　岡内（一五七）

測量用トランシット一脚、砂糖一臺十二磅總ド便レール四十七チャイン右御譲り入用の方は下名へ　南山町一丁目　小谷（一五八）

元賃二階建新築家屋上六疊二三疊下三疊、六疊敷温突付外押入れ所臺所あり疊建具一切完備床及び庭付紳士に向適當なり　南山町一丁目　鍋島　三吉　電話八三五（一五九）

貸間　二階六疊二階床間押入付至急貸したし　旭町一の六十　京仁商會（一六一）

雜貨　見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます　旭町一丁目　旭町競賣所（一六二）

廣告

三一館

京城本町五丁目　各種御旅館　遞信御用

京城御案内　絵葉書　大島張所

產婆　荘野キヌ
東京產婆學校卒業
龍山十五番地　濱湊會十六號

待合　貸席
開業
日出町一丁目（壽座裏）
時雨

移轉御披露
今般左記の所に移轉す
永樂町貳丁目（赤門前より五軒目）
洋服商　東京塚原支店　原雄吉

商標
元祖
S
人蔘煉製飴
日本への土產としてよい菓子
滋養菓子　朝鮮名產
大函七十五錢　中函五十五錢　小函四十五錢
發賣元　京城　鳳梅堂
この商標なきものはにせもの

神佛葬具請負　並に佛具販賣
貧困者は特志取扱申候
京城南山町四丁目（花月向）

大阪佛教取次所　左文字屋
電話八四九番

特約販賣　自製
大上商店
漬物　味噌　醬油　製造元
京城本町五丁目　（電話二五一番）
和洋酒、罐詰、穀物麵類、砂糖、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩等各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

▲轉宅荷物運搬
（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）
有田運送店
店主　有田□太郎

清潔の下宿
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
▲懇切の下宿
壽町二丁目十番戶横小路（元花屋跡）
かめ屋

會席御料理
富士見樓

寒氣と牛乳
牛乳と消毒
韓國畜產株式會社

青々園
西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろいろ
折詰辨當
同サンドウヰツチ
京城本町四丁目
茶及茶器商　青々園茶舖

株式會社　東京火災保險會社
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
代辨店　山口吳服店
事務所　京城本町二の三　電話九番

株式會社第一銀行韓國總支店
電話番號

內地本支店出張所
韓國支店出張所
清國出張所
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御照談被下度候

一ヶ月八圓の下宿
黃金町　統明館
（明治町突當り）

御下宿　三友館
諸官衙往復に最便利の地位にあり
京城明治町三丁目憲兵隊前

諸官衙用御品調達
營業科目
紙類　書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物　食鹽
織物　染料
各學校用品調達
並に
委託販賣
東京　千代田生命保險相互會社代理店
横濱　アライアンス商會代理店
東京　博文館發行書籍特約店
東京　金港堂發行書籍特約店
山口　□□鹽特約店
藤田合名會社
出張所

純良
牛乳
元祖　平山牧場
京城大和町一丁目

株式會社　十八銀行京城支店
本店　長崎市築町
資本金　參百萬圓
積立金及繰越金　八拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
韓國　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、群山
日本　大阪、熊本、佐世保、嚴原
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽
に爲替取引先あり
貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

入院隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
院長　陸軍三等軍醫正　高井貞治

登記、漢城府手續、諸願、屆、代書、民役所前
土地、鑛山、測量、集金、取立、代辨
土地家屋賣買其他金錢貸借諸般ノ仲介
岡田事務所
京城本町一丁目

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕會

釜山長崎門司神戶行　二月十二日後三時
大連行　高砂丸　二月十六日後一時
大連、芝罘、秦皇島行　山東丸　一月卅一日前五時
大連行　酒田丸　二月二日正午
釜山出帆、浦鹽行　上川丸　二月三日
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ス

神田組